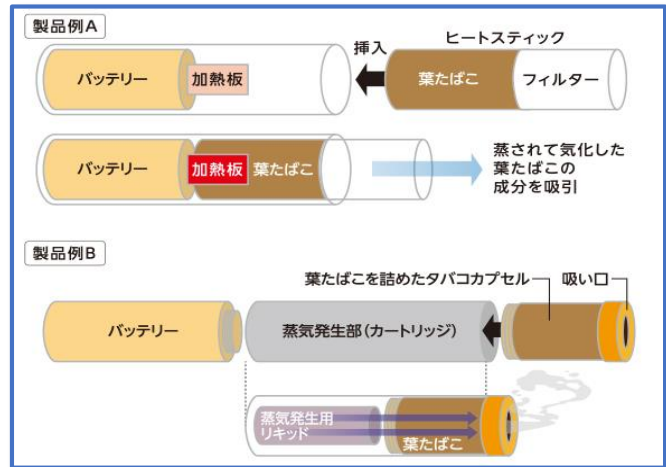
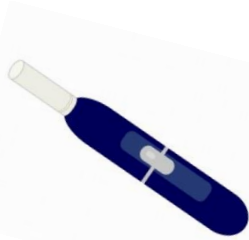


# 加熱式タバコって？

タバコの葉を電気で加熱することによって蒸気を発生させるタイプのタバコのことを加熱式タバコといいます。

従来のタバコと違い、燃焼しないので煙は発生せず臭いが少ないのが特徴です。



加熱式タバコは、燃焼させないため一酸化炭素は出ません。タール成分の発生も抑えられていますが、発生する蒸気にはニコチンや有害物質が含まれているため、加熱式タバコでも体への悪影響は避けられません。 **加熱式タバコも「たばこ」であることには変わりはありません。**

## 加熱式タバコの比較

名称	iQos (アイコス)	glo (グロー)	Ploom TECH (プルームテック)
販売会社	フィリップモリス	ブリティッシュアメリカンタバコ	日本たばこ
形態			
たばこの名前	ヒートスティック	ネオスティック	たばこカプセル
たばこ税	対象品	対象品	対象品
加熱温度	300℃	240℃	30℃
特長	ヒートスティックを本体に差し込み、タバコ葉をブレードで直接加熱して、発生した蒸気を吸引する 1回の吸引は14回または6分間(新型は5分) 300℃で加熱するためタバコ葉は燃焼せず副流煙は発生しない ヒートスティック1本吸うことに充電する必要があり、連続吸入ができない	タバコ葉(ネオスティック)をglo本体に挿入し、ネオスティックの外側から加熱して蒸気を吸引する 1回の吸引時間は3分30秒 240℃で加熱するため燃焼せず副流煙は発生しない。 充電器と本体が一体型になっていて20回連続使用が可能	タバコ葉の粉とリキッドが一体になった「たばこカプセル」を本体にセットして使用する 吸い始めることで作動し、たばこ葉の粉を低温で通過したリキッドの蒸気を吸引する 「たばこカプセル」1個で50パフ(1回の吸引をパフと表現)使用できる フル充電で250パフ使用できる 吸引途中で吸引を中断し、再開することも可能 30℃という低温抽出のため臭いの発生が少ないといわれている
	タバコ葉から出る蒸気(ペイパー)を吸引するのが「加熱式タバコ」 燃焼しないため「主流煙」「副流煙」「呼出煙」「一酸化炭素」は発生しないが、成分を含む蒸気が独特の臭気が発生する。吸引排出される息からも臭いが発生し無臭ではない。吸引する蒸気「ペイパー」に含まれるニコチン量は紙巻たばこに比較して20~40%減少し、54種類の有害成分は概ね90%低減されているという発表があるが研究結果発表事例が少なく正確性に乏しい。今後の研究事例の発表が待たれる。 「加熱式タバコ」は「副流煙」がなく、有害成分が低減しているとはいえ、有害成分は無くなっていない。タバコの健康被害発生は、喫煙本数ではなく継続使用であるという研究発表もあることから「加熱式タバコ」は健康に影響がなく安全ということにはならない。		